

特集

勤怠の人事知識

労基法を正しく理解し人件費のスリム化を

好評連載

井熊 均
井徳正吾
今井 激
鎌田 慧
境野勝悟
高橋陽子
沼崎益夫
松野 豊
村田裕之
和田 努

先見人
株式会社丸進
代表取締役社長
安原研司

先見TOP interview

豊かな日本を
育てる実のある
投資を(前編)

コモンズ投信株式会社
取締役会長

渋澤 健
聞き手・山口哲史

清話会セミナー講演録

井上康史

語られることのない自衛官の胸中

小島 昇

生き残るための持続的な経営体制を

西口和憲

「消費者」として葬儀費用を考える

豊かな日本を育てる実のある投資を(前編)

現代の企業経営に通じる洪沢栄一の金言

聞き手▼山口哲史 株式会社フロ・アクティブ代表

日本の社会インフラの基礎を築いた洪沢栄一。その玄孫に当たる洪澤健氏は、アメリカの金融市場の第一線で活躍し、現在は日本で投信事業を手がける。日本経済の今と将来について、今号と次号の2回に分けて伺う。

ドラッカーよりも

洪沢栄一に学べ

山口 日本ではドラッカー・ブームが続いています。しかし、近現代の日本の社会インフラをつくったのは洪澤健さんの高祖父に当たる洪沢栄一翁。その恩恵を享受しているうちのスタッフからも、「それって誰？」と聞かれることがあって驚かされる。「日本人ならドラッカーの前に洪沢栄一だろう」と真剣に思います。その意味で、今日出会ったことを嬉しく思います。

洪澤 こちらこそ今日はありがとうございました。

山口 『洪沢栄一 1000の訓言』(日経ビジネス人文庫)を読みました。解説も分かりやすく、含蓄のある本ですね。

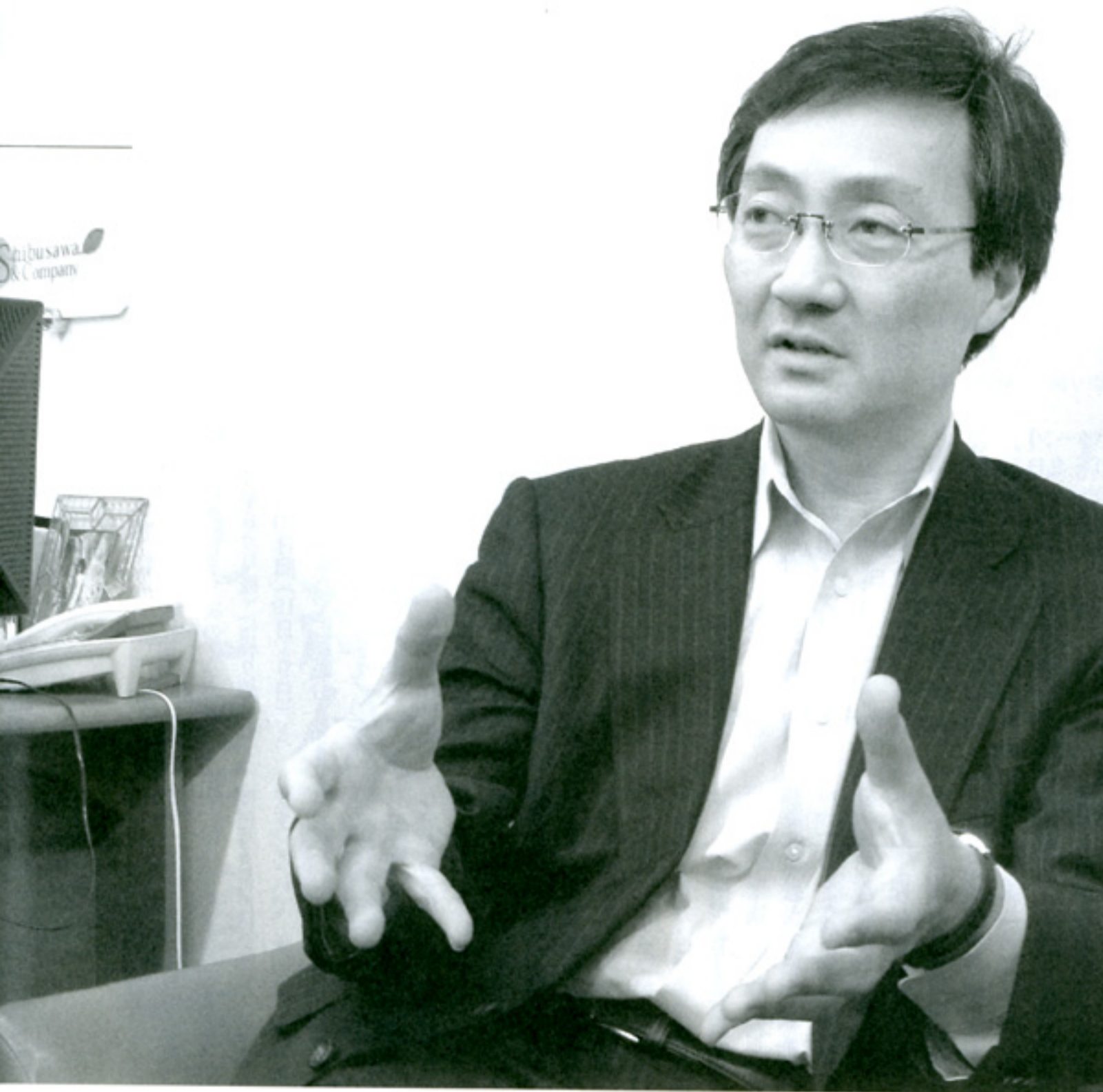
洪澤 洪沢栄一の言葉をまとめ

たこの本は、韓国語版も出ていて、中国語版の出版の話も来ている。私からも中東の言語にも翻訳したらどうかと提案しましたが、出版社からやり過ぎだろうと言われました(笑)。

山口 世界中で読まれたら素晴らしいのに。日本では「もしドラ」がベストセラーになりましたが、アメリカではドラッカーはそれほど注目されていないと聞きます。

洪澤 知られていないとは思いませんが、「もしアメフトのマネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら」という本を出しても、日米では文化も違いますし、おそらく売れなかつたでしょうね。

山口 そうですね。表紙はアキバ文化の象徴とも言えますし。





健 澤 史

ホスト
株式会社プロ・アクティブ代表
山口哲史 (やまぐち・てつし)
1961年兵庫県生まれ、関西学院大学商学部卒業後、リクルートなどを経て90年、現(株)プロ・アクティブの前身のフィールド・アクティブを設立。竹100%でできた繊維など自然でピュアなエネルギーを活用した「人を自然に輝かせる(ラディアンス)力」のある健康、美容商品の企画・販売を手掛ける。社内外ともに「ガッツさん」の愛称で親しまれている。
<http://www.pro-active.co.jp>

もつともこのブームは、ビジネスの域を超えた社会の道徳観が薄れてきていて、人々が「正しい経営とは何か」という答えを求めているからとも感じます。
澤 最近のダボス会議でも、「責任ある資本主義」のあり方について議論が交わされています。特にリーマン・ショック以降、日本企業には、株主、従業員、顧客、社会のすべてのステークホルダーを大切にすることが、今までよりも高いレベルで求められています。これは澤栄一が経営哲学をまとめた談話集『論語と算盤』(角川ソフィア文庫)にも通じる考え方です。
山口 日本には昔からそういうビジネスがありました。近江商人の「三方よし」もそう。そこに西洋のリアルを取り入れて融合させたのが澤栄一。今は日

中で澤栄一ブームが起きつつある。2006年には武漢の華中師範大学に澤栄一研究センターができましたね。
澤 中国としては、すぐ隣に近代化した日本という国があり、『論語』を読み算盤も弾くことから、関心を持ちやすいのでしょう。澤栄一研究センターも、「これからつくる」ではなく、「つくったから来てください」と言われました。
山口 行動力が違いますね。

歴史は繰り返さずとも時代のうねりはある
山口 先ほど書名が挙がりましたが、澤さんには都内の大学などで、『論語と算盤』から未来を拓く」という一般向け講座も開講されていますね。
澤 大学講座や経営塾も設けていますが、原点の考えを通じて、ビジネスパーソンの視点に刺激を与えるために始めたものです。過去は変わりませんが、時代にはうねりがあります。91歳の長寿を全うした澤栄一の言葉は、将来を予見しているかのようなものも多い。
山口 例えば、どんな言葉を遺

しているのですか。
澤 日本の近代化が進んだ明治時代末期や大正時代に、「事なかれ主義に陥っている。政府任せで秩序的に縛られている。一人ひとりが社会の発展に貢献できていない。このままでは将来悔やむことがあるだろう」と。澤栄一が没したのは1931年11月、満州事変の2カ月後ですが、30〜40年代にかけて、その波が押し寄せてきました。
山口 先人が伝えたかった思いが、現代人の手で翻訳されて、今ようやく伝わってくる。
澤 今はそれと似たような時代のうねりを感じるところがあります。

実業家・澤栄一の言葉には世代を超えた共感がある

ります。将来はまっすぐ伸びるわけではなく、途中で必ず揺らぎがある。日本は明治維新と戦いで一旦リセットして原点に戻り、ゼロから出発して急成長を遂げました。リセットの引き金を引けるかどうか。明治維新のときは政府が江戸幕府の債務の6割を切り捨て、また終戦後はハイパーインフレを防ぐ名目

の95%が国内消費であること。世界の資本市場からのガバナンスも受けないので超低金利が続き、お金も回らない。もし日本が債務超過に陥れば、全世界に与える影響はギリシャやスペインの比ではないでしょう。
山口 もし起これば、全世界連鎖倒産もあり得ますね。
澤 ある友人が「国は倒産し

で、新円切り替えに伴う預金封鎖をしています。
山口 こういう話が面白い。
澤 これを踏まえ、現在の日本の公的債務を見たときに、3つのポイントがあります。1つ目は、現在、日本の金融資産は約1500兆円あると言われます。しかし、うち300兆円は債務で、実質1200兆円です。国と地方の公的債務はおよそ1000兆円ですから、ほぼトントンのレベルです。2つ目は経常黒字。お金は海外から入るのでファイナンスできると言われますが、入らなくなったときは、どうなるのか。3つ目は、国債

の95%が国内消費であること。世界の資本市場からのガバナンスも受けないので超低金利が続き、お金も回らない。もし日本が債務超過に陥れば、全世界に与える影響はギリシャやスペインの比ではないでしょう。
山口 もし起これば、全世界連鎖倒産もあり得ますね。
澤 ある友人が「国は倒産し